

商品の安全・安心の期待に応えるために

商品検査室レポート

プラス

2023年度

検査活動 レポート

2023年3月21日から
2024年3月20日まで



※ホームページでも

商品検査室紹介

検索

で見ることができます。



※スマートフォンで
見ることができます。



生活協同組合 おおさかパルコープ

商品の安全・安心の期待に応

ごあいさつ

パルcoopでは、食の安全を守る取り組みの強化を掲げ、食の安全の基本となる、産地・お取引先のみなさんとの信頼関係を強め、正直・誠実を基本に事業をすすめています。

現在、食品に関する市場では、残留農薬や食品添加物、アレルギー等さまざまな不安が広がっています。

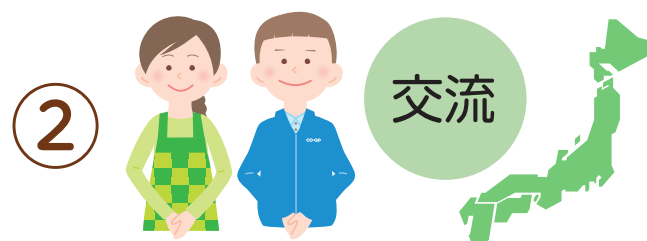
私たちパルcoopでは、安心して商品をご利用いただけるよう、生産から食卓までをしっかりとした信頼関係で結び、生産者・組合員のみなさんに迅速・正確に情報を提供します。また、風通しのよい関係を築き、coop商品の安全・安心と品質向上に取り組んでまいります。

今後も食の安全を守る「5つの活動の柱」を基本に、商品検査によって安全を科学的に検証すること、そして、抜本的な品質保証体系の確立を目指し、より確かな品質の商品をお届けします。

食の安全を守る「5つの活動の柱」



生協の原点に立ち返り、生協ならではの商品事業のあり方を見直します。
●産地・お取引先との信頼関係を基盤に



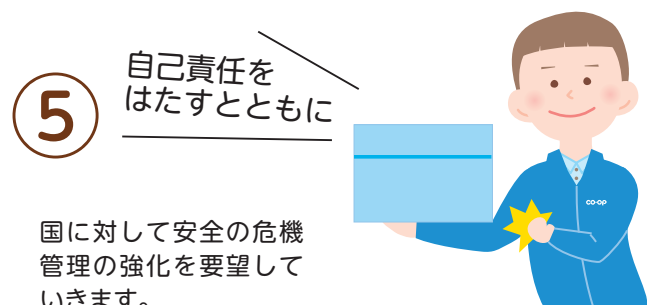
産直・地産地消を重視し、生産者に組合員さんの声を届け、相互信頼のある関係を目指します。



安全を前提に、情報を公開し「簡単・便利・低価格」の要望を一緒に考えていきます。
●科学的知見に基づく評価を行います



安全・安心を大切に、正直に公開し、誠実に対応していきます。
●原料・産地情報 ●検査レポート ●ホームページ



国に対して安全の危機管理の強化を要望していきます。

《2008年通常総代会 第2号議案より》

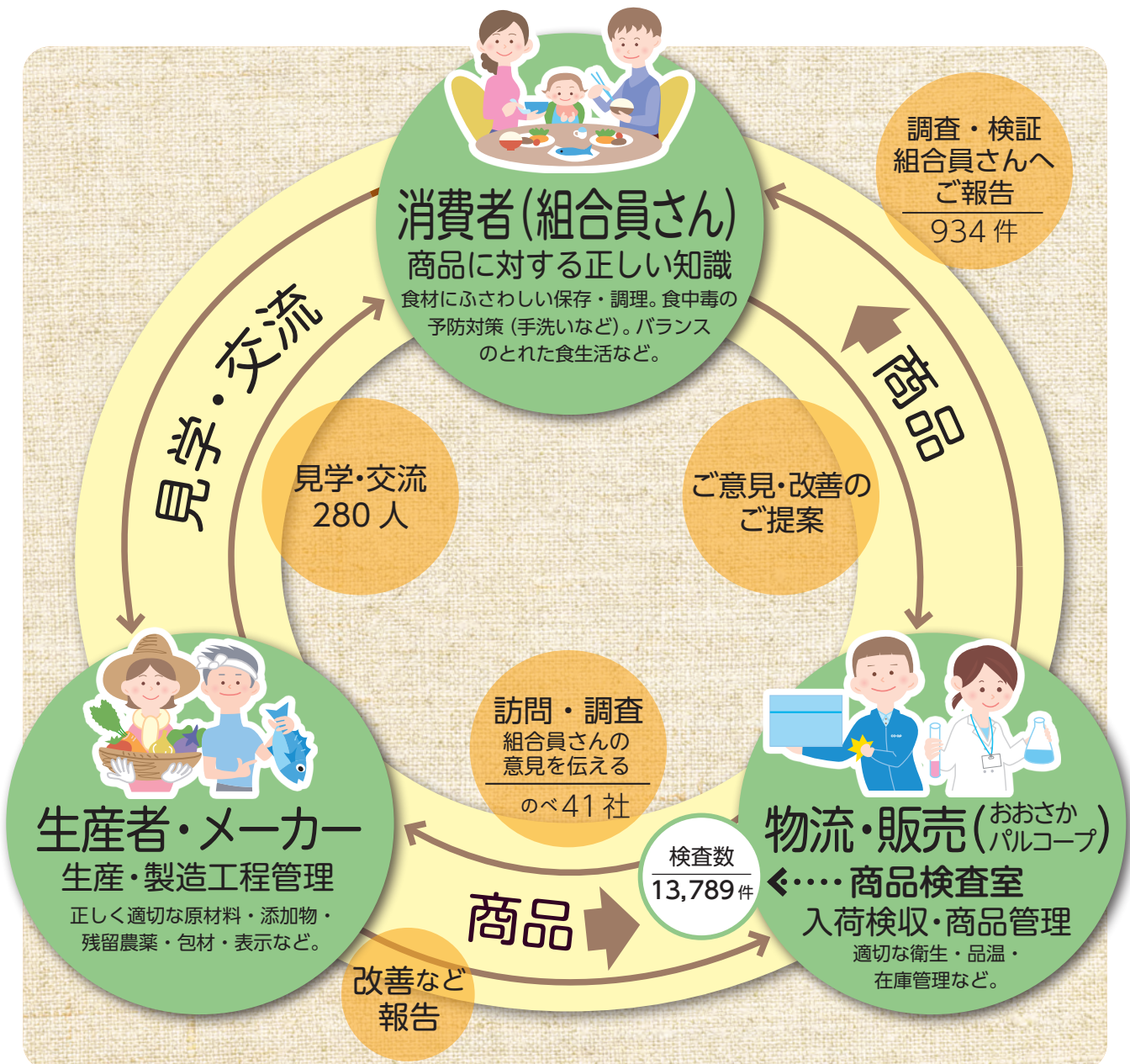
えるために。



3つの輪をつないで安全・安心を実現します

検査結果や、工場・産地訪問などで収集した関連情報について生産者、メーカーと協議し、よりよい商品作りに反映させます。

- 法基準や自主基準に適合しているかどうかを「新規取り扱い品の事前検査」で確認し、不適合の場合、製造工場で改善対策をとっていただきますが、不十分な場合は取り扱いません。
- 共同購入（班配・個配）や店舗で取り扱っている商品を任意に抜き取って検査し、法基準や自主基準に適合しているかどうかを確認します。
- 苦情・お申し出品について、原因を調査し、再発防止にむけて商品改善をします。また適切な取り扱い方法を紹介するなど、よりわかりやすい情報提供をすすめています。



2023 年度検査活動レポート

2023 年度の検査総件数は 13,789 件、
計画数 105.4%の検査数となりました。

- 行政指導・報道などの情報に応じ、適宜類似取り扱い商品の検査も実施しました。
- 微生物検査では、「特定非営利活動法人（NPO）友・遊」など関連事業の検査も継続して実施し、衛生管理向上にむけて連携を図りました。

検査結果に基づく対策は
基準に沿って判断します

法基準

食品表示法【食品衛生法・JAS 法・健康増進法】、公正競争規約など

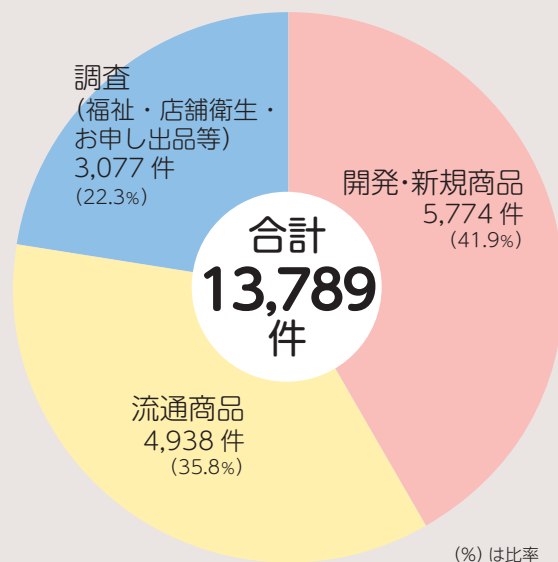
パルコープ 自主基準

微生物基準、食品添加物自主基準、ハート栽培農産物基準、重大事故対応など

検査実績は、おおさかパルコープホームページ「検査室からのお知らせ」・機関紙「ばるタイム」にも随時掲載しています。

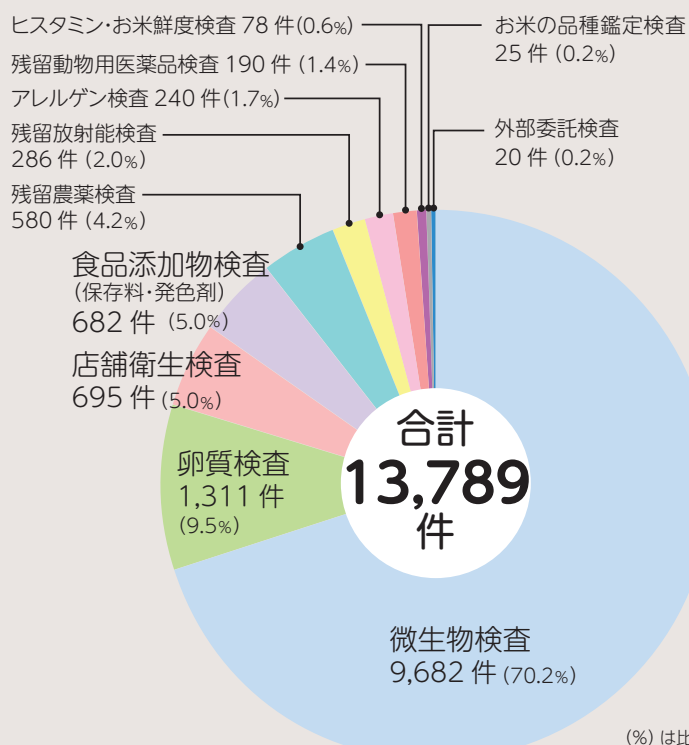


入手方法別内訳



開発・新規商品…共同購入品、店舗で新規導入予定の商品
流通商品……………共同購入品、店舗で陳列している商品の
抜き取り検査

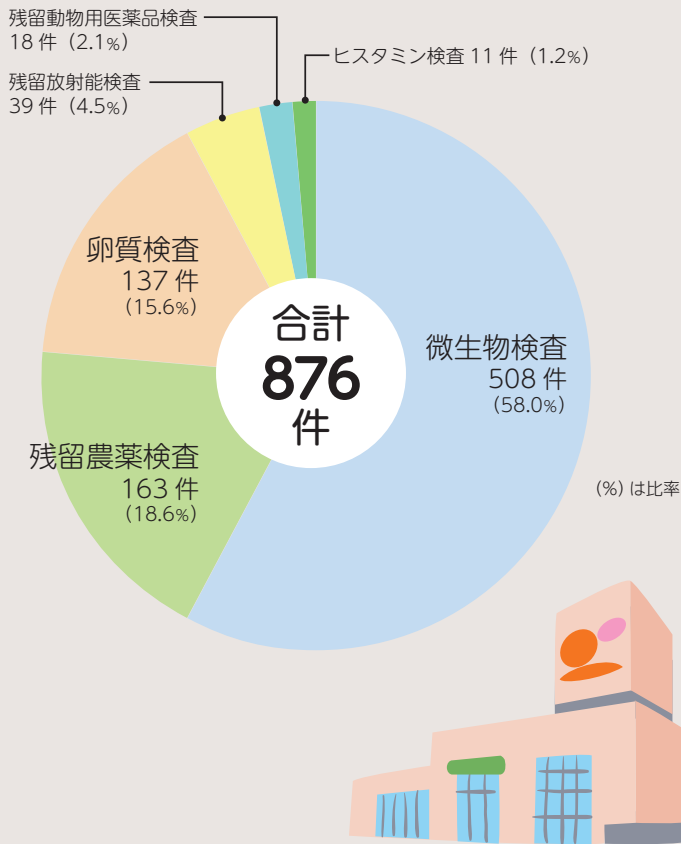
検査分類別内訳



商品検査室には こんな役割があります



店舗商品検査数



安全性確認

法基準やパルコープの自主基準に適合しているかを確認し、不適合となった商品については、お取引先に対して調査を依頼し、原因を追究しながら、お取引先、生協双方が商品事故の防止に努めています。

食品の衛生状態

- 微生物検査：食中毒菌及び食品の腐敗、品質に関する微生物を検査
- 店舗・福祉施設の衛生点検（5S、HACCP）
- 工場点検

化学物質などの食品への残留状態

- 残留農薬検査
- 食品添加物検査（保存料、発色剤）
- 残留放射能検査（放射性物質）
- 残留動物用医薬品検査（抗生物質、合成抗菌剤、ホルモン剤）
- カドミウム検査
- ヒスタミン検査
- アレルゲン検査（卵・乳・小麦）

品質管理

組合員さんからいただいた声を受け止め、その問題点や原因を明らかにし、できる限りの対策を講じ、改善をすすめること。そして、その取り組みを組合員さんにお知らせし、生協への信頼に応えていくこと、これこそが生協のもっとも重要な活動と考えています。

- 商品お申し出受付（調査・検査・回答報告）
- 卵質検査（卵殻強度・卵重量・卵鮮度）
- お米鮮度検査（玄米・白米）

食品表示

「産地・ブランド名が表示されているもの」「アレルギー物質の表示」など、表示されている内容が正しいかどうか、適切に商品が製造されているかどうかなどを検証するために実施しています。

食品表示の確認

- お米の品種鑑定検査

書類点検

- 商品仕様書点検
- 包材表示点検



微生物検査

微生物検査では、パルコープでお届けしている商品に細菌性の問題が無いか、検査によって危害を予測し、商品事故を予防します。また、検査結果を活用し、品質の向上につなげます。

主な検査対象は、“腐敗しやすい商品”“食中毒の危険性が高い商品”が中心となります。

今年度のまとめ

2023 年度は、9,682 件の検査を実施しました。

- 商品相談品検査では人体危害にかかわる検査を 17 件受けましたが、品質上の問題はありませんでした。
- 新規事前検査（共同購入）および流通抜き取り検査で、自主基準の不適合品は 15 品ありましたが、人体危害や回収が必要となる商品はありませんでした。検査結果はお取引先にお伝えし、品質向上に役立てています。

※福祉施設では 105 件の提供食事の検査を実施しました。

検査レポート

検査数内訳

開発・新規商品 4,361 件 (109.0%)	流通商品 2,349 件 (100%)	調査・その他 2,972 件 (112.2%)
合計 9,682 件 (107.6%)		

(%) は計画比

検査項目

一般生菌数	大腸菌群・腸内細菌科菌群
大腸菌 (E-coli)	黄色ブドウ球菌
セレウス	サルモネラ属菌
腸炎ビブリオ	乳酸菌・低温細菌
真菌・酵母	O-157(腸管出血性大腸菌)
リステリア・クロストリジウム属	カンピロバクター

開発・新規商品…共同購入品で新規導入予定の商品
流通商品…共同購入品、店舗で陳列している商品
調査・その他…福祉・店舗の衛生検査品・お申し出品・調査要請品
(介護食、夕食宅配など)

微生物コラム

◇食中毒予防のポイント！

食中毒というと、飲食店での食事が原因と思われるがちですが、毎日食べているご家庭の食事でも発生しています。普段、当たり前に行っていることで、思わぬ食中毒を引き起こすことがあります。ご家庭における食事作りでの食中毒予防のポイントをチェックしてみましょう。

食中毒予防の3原則！

① つけない

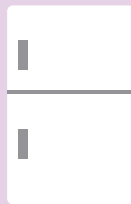
清潔



食中毒の原因となる細菌やウイルスをつけないよう手洗いの徹底や、包丁・まな板の洗浄など清潔を心がけましょう。

② 増やさない

迅速／冷却



食品についた細菌やウイルスが増えないよう、迅速な調理・提供と冷却を心がけましょう。

③ やっつける

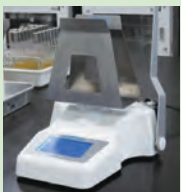
加熱



食品は中心部が75℃で1分以上加熱し、細菌やウイルスなどをやっつけることを心がけましょう。ノロウイルスの場合は、85～90℃で90秒以上の加熱が必要です。

微生物検査の流れ

サンプリング



検体を10～25g採取し滅菌袋に入れ10倍希釈になるように自動分注します

撈拌



約1分間、検体と希釈水を撈拌して試料液を作ります

塗抹



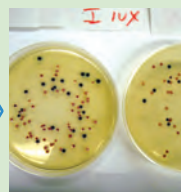
渦巻き状に試料液を塗抹します

培養(約1～5日)



細菌が目に見えるよう増殖させます(一般生菌数で35℃、48時間培養)

判定



増殖した菌の状態を確認します

カウント



目視で菌量を数えます

問題なし
予定どおり
商品を提供
します

問題あり
改善をすす
め
ます。改善で
き
ない場合は取
り
扱
わ
ない
場
合
も
あ
り
ま
す

残留農薬検査

パルコープでは、農薬および化学肥料の使用割合を独自に設けた「ハート栽培農産物」を取り扱っています。

ハート栽培農産物やその他の農産物を中心に、パルコープの自主基準や国の残留農薬基準に適合しているかを検査し、確認しています。現在、検査可能な農薬数は329項目です。

今年度のまとめ

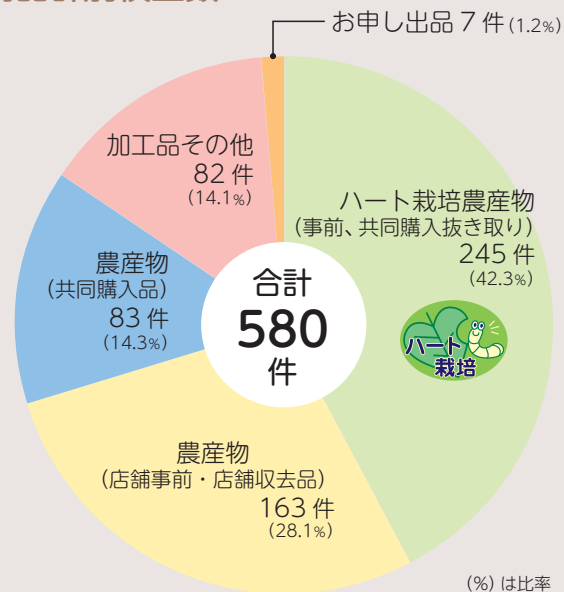
2023 年度は、580 件の検査を実施しました。

- ハート栽培品 検査数 245 件
農薬検出数 36 件 (検出率 14.6%)
- 一般農作物 検査数 250 件
農薬検出数 95 件 (検出率 38.0%)
- 申し出品検査 検査数 7 件
農薬検出数 1 件 (検出率 14.2%)

検出された農薬はいずれも残留農薬基準値以下でした。

検査レポート

商品群別検査数



開発・新規商品…共同購入品、店舗で新規導入予定の商品
流通商品…共同購入品、店舗で陳列している商品

～輸入加工食品への対応～

パルコープでは、2 度の加工食品への農薬混入事例を踏まえて、加工食品の残留農薬検査を実施しています。とくに、海外原産及び加工の商品に関しては、事前に検査を実施し、問題がないことを確認した上で、提供しています。

(2023 年度は 78 品実施しました)

知っていますか？

ハート栽培農産物



パルコープでは、農薬及び化学肥料の使用割合を当地比の 3 割以上減らした農産物を独自に認証し、「ハート栽培農産物」として供給しています。企画3週間前の事前検査、供給時にも任意に抜き取りを実施し、農薬の使用実態と栽培計画との不一致がないかどうかを確認しています。

残留農薬検査の流れ

サンプリング



検体をフードプロセッサーで粉碎し、約 10 g 測ります (種類ごとに使用部分は規定されています)

農薬の抽出 1



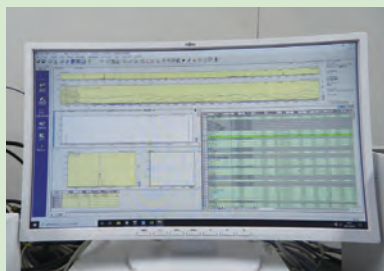
さらに粉碎し農薬を取り出します

農薬の抽出 2



遠心分離機にかけ、固体と液体に分離します

解析… 解析とは、要素や成分など分けて構成を細かく調べること。



結果を解析します

分析… 分析とは、事柄を細かく分けた上で論理的に調べ上げること。



測定器にかけて分析します

抽出液の精製



水分を取り除き農薬だけを取り出します

残留放射能検査 (放射性物質)

パルコoopでは、

1. 「政府検査の再確認」 検査を主に実施し、組合員さんにより安心していただくこと
2. 検査結果を産地へ知らせ、よりよい商品づくりに活かしていただくこと

を目的とし、放射能検査を実施しています。検査対象品目は農産物を中心に、水産物・その他については、東北・北関東周辺 17 都県の産物を対象に、抜き取りによる検査を実施しています。

今年度のまとめ

2023 年度は、286 件の検査を実施しました。

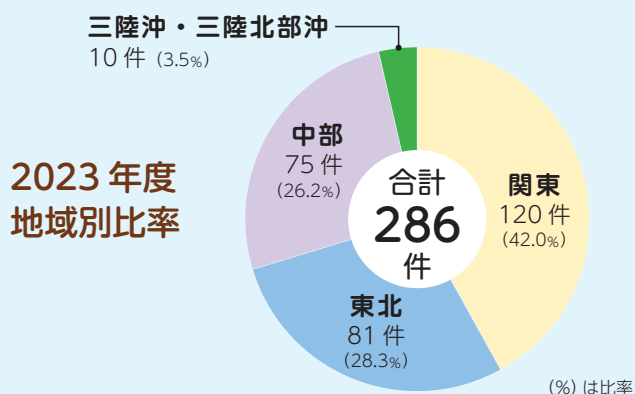
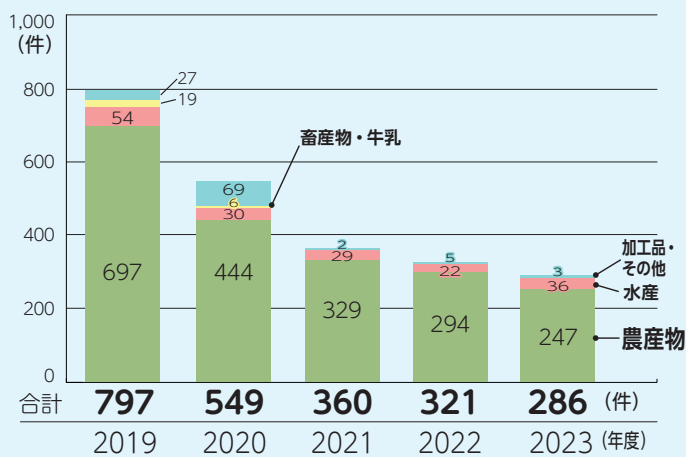
- 農産物・水産物を中心に検査を実施し、すべて問題はありませんでした。

残留放射能(放射性物質)検査まとめ

残留放射能検査は 2011 年6月末より開始し、2024 年3月末までに約 9,883 件実施しました。

品目別には、野菜・果物を含む農産物を主に測定していますが、近年では水産物の検査にも取り組んでいます。地域別では、東北・関東が全体の約 7 割を占めています。

残留放射能検査の推移



残留放射能検査の流れ

サンプリング



可食部を切り取ります

粉碎



さらに均一になるよう粉碎します

専用容器へ



専用の容器に入れ、検出器へセットします

測定



約 20 分～3 時間、測定します

解析

測定終了後、結果は自動的に解析されます。

残留放射能検査の結果をお知らせしています

検査の結果情報をパルコoopのホームページでお知らせしています。ご注文時にお役立てください。

https://www.palcoop.or.jp/radioactiv_lab



検査の結果は毎週更新しています！



企画商品の事前検査結果

2024年8月30日現在

■ 9月3日 回 (●注文書提出 2024年9月9日～9月18日 ●配達 2024年9月16日～9月20日)

注文番号	産地	品名	検査日	セシウム134	セシウム137
184	長野県	ブルーベリー	8月29日	検出せず	検出せず
210・211	茨城県	産地ありミニトマト(大・小サイズ別)	8月5日	検出せず	検出せず
213	福島県	曲がりきゅうり専用	7月23日	検出せず	検出せず
210	〇〇県	〇〇〇〇	〇〇月〇〇日	検出せず	検出せず
210	〇〇県	〇〇〇〇	〇〇月〇〇日	検出せず	検出せず
210	〇〇県	〇〇〇〇	〇〇月〇〇日	検出せず	検出せず

■年間登録特別栽培米(対象産地)の検査結果

産地	品名	検査日	セシウム134	セシウム137
宮城県	宮城産ひとめぼれ(新米)	2023年11月27日	検出せず	検出せず
新潟県	新潟県産コシヒカリ(新米)	2023年11月27日	検出せず	検出せず
〇〇県	〇〇〇〇	〇〇月〇〇日	検出せず	検出せず

■その他、行政が対象とした区域の産物品(魚貝類、魚加工品など)の検査結果

産地	品名	検査日	セシウム134	セシウム137
宮城県	いかにそうめん	2024年6月19日	検出せず	検出せず
三陸沖	むらさきほりかつお節	2024年4月15日	検出せず	検出せず
〇〇	〇〇〇〇	〇〇月〇〇日	検出せず	検出せず

★店舗商品の検査

産地	品名	検査日	セシウム134	セシウム137
青森県	きゅうり	2024年8月26日	検出せず	検出せず
宮城県	宮城産天然はまち刺身(魚)	2024年8月23日	検出せず	検出せず
〇〇県	〇〇〇〇	〇〇月〇〇日	検出せず	検出せず

食品添加物検査

パルコープでは、加工食品において使用量が多い保存料（ソルビン酸・安息香酸）と発色剤（亜硝酸塩）の検査を実施しています。主に新規商品と迎春商品については、国が定めた保存料・発色剤の使用可能な食品を中心に検査対象とし、包材に表記があるものは基準値以内であること、包材に表記がないものについては使用されていないことを確認しています。

また、保存料の使用が可能な原材料（あん・フラワーペースト・ジャム・チーズ など）を多く使用しているパンや洋菓子、和菓子なども保存料の検査を実施しています。

主な検査対象品

保存料	魚肉練り製品、漬物、食肉製品、佃煮、清涼飲料水、たれ・つゆ など
発色剤	食肉製品、いくら、たらこ、魚肉ソーセージ など

※食肉製品とは・・・ハム、ソーセージ、ウインナー、ベーコン、ローストビーフ など

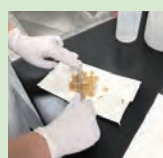
今年度のまとめ

2023年度は、保存料 606 件、発色剤 76 件、
合計 682 件の検査を実施しました。

● 不適合品はありませんでした。

保存料検査の流れ

サンプリング



検体を細切し、一定量計量します

水蒸気蒸留



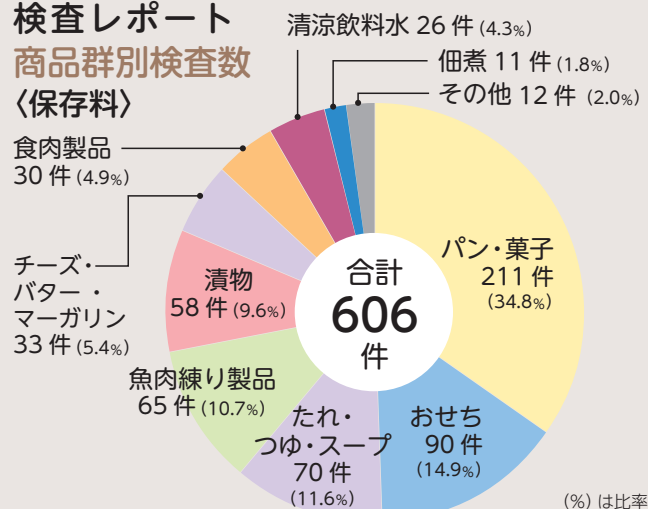
保存料成分を留出します
※留出とは…成分が液体と
なって取り出されること。

分析



高速液体クロマトグラフで分析します

検査レポート 商品群別検査数 〈保存料〉



卵質検査

共同購入の卵については、定期的に全品の抜き取り検査を実施しています。また、店舗についても、隔月で主要品目の鮮度管理の点検を実施し、結果は売り場でも掲示しています。

もし劣化が認められた場合は、養鶏場・出荷場をはじめ、流通から店舗・配送にいたるまでの状況を調査し、必要に応じて改善を指示します。

卵検査報告書
(店舗卵売り場に掲示)

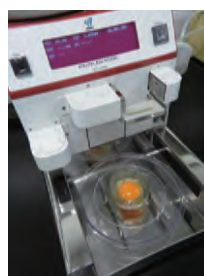
今年度のまとめ

2023年度は、1,311 件の検査を実施しました。

● 共同購入・店舗ともに抜き取り商品について、HUランクによる鮮度では、AA94.7%、A4.8%、B0.5%、C0%と、鮮度良好が圧倒的でした。

卵の鮮度と温度管理

卵の鮮度は、「卵 1 個の重量」と「濃厚卵白（プリン状の卵白）の高さ」から算出され、数値化した「HU（ハウユニット）値」で判断しています。パルコープでは、HU ランク「A」以上の商品をお届けできるよう、細かな抜き取り検査で確認しています。



卵白 HU 値の指標

HUランク	HU 値（鮮度表現）
AA	72 以上 (きわめて新鮮)
A	60 ~ 71 (新鮮)
B	32 ~ 59 (やや古い)
C	31 以下 (古い)



鮮度が劣化するスピードは、保存温度に大きく影響を受けます。直ぐに冷蔵庫で保存していただきますようお願いいたします。

お米鮮度検査

新米（玄米）と、ご飯の味などにかかわるお申し出を中心に、鮮度検査を実施しています。

その年に収穫された玄米については、古米が含まれていないことの確認、白米については、精米後、長期間経過したものが混じっていないことを確認しています。

今年度のまとめ

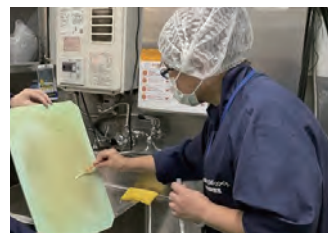
2023 年度は、28 件の検査を実施しました。

- パルコープ独自で企画した新米（玄米）について、鮮度検査を実施しました。
- 鮮度に問題はありませんでした。

店舗・福祉施設の衛生点検

店舗や福祉施設の衛生点検を実施しています。

調理設備（包丁・まな板など）の洗浄、殺菌レベルの判定と、微生物検査を実施しています。



今年度のまとめ

2023 年度は、1,721 件の検査を実施しました。

- ※店舗は全店対象に1店舗あたり年に3回実施しています。
- ※福祉施設は、1施設あたり年に2回実施しています。

ヒスタミン検査

ヒスタミン中毒はヒスタミンが高濃度に蓄積された食品、主に青魚やその加工品を食べることにより発生するアレルギー様の食中毒です。外気温が高い4～10月に企画される新規商品（マグロ、カツオ、サバ、アジ、イワシなどの青魚を使用した加工品）や、店舗収去品（主に塩干品）、迎春商品（田作りなど）を検査しています。

今年度のまとめ

2023 年度は、50 件の検査を実施しました。

- ※ヒスタミンは通常でも微量検出されることから、無毒性量1食50mgを基準に、リスクの高い時期、魚種を選定し検査を実施しています。

外部委託検査

「表示されている内容が正しいかどうか」「残留している化学物質の量の確認」など、適切に商品が製造されているかどうかを検証するために検査を実施しています。

今年度のまとめ

2023 年度は、20 件の検査を実施しました。

- 遺伝子組み換え検査、カドミウム検査は主要定番品目を選定して実施しました。いずれも問題はありませんでした。

※以下の検査はお申し出や調査の為、必要に応じて実施しています。

- 異物調査
など

アレルギー検査

新規商品のうち、初めて取り扱うメーカーの商品や、リスクが高い商品を選定し、包材の原材料に卵・乳・小麦の表記がない商品（コンタミ表記※を含む）を検査対象とし、卵・乳・小麦のアレルギー検査を実施しています。

今年度のまとめ

2023 年度は、240 件の検査を実施しました。

※コンタミ表記とは……「本品製造工場では卵・乳・小麦を含む製品を製造しています」のような注意喚起の表記

その他の活動

お取引先訪問確認

商品の品質改善や検査結果に基づき、産地や工場の訪問確認を実施しています。

今年度のまとめ

2023 年度は、のべ 41 社を訪問し、品質管理の改善・向上にむけて意見交換をすすめました。

商品仕様書点検・包材表示点検

共同購入、店舗の食品添加物など、商品表示に関する自主基準と食品表示の関係法規等（食品表示法など）に基づいて点検を実施しています。

今年度のまとめ

2023年度は、10,024品を点検しました。

見学会・学習会

見学会では、商品検査室の業務全般を分かっていたできるように、写真などを使って説明をしています。曜日や時間帯により、実際に検査している状況をご覧いただくことも可能です。学習会では、「食品添加物検査」や「残留農薬検査」など、要望に応じて実施しています。

今年度のまとめ

2023年度は、280名の方が参加されました。

商品仕様書って？

商品の「設計図」のようなものです。その商品に使用している原材料にかかわる情報や製造管理、衛生管理に関わる情報（原材料配合率・産地・食品添加物・栄養成分・含まれているアレルギー物質・遺伝子組み換え原料の有無など、製造工程・製造工場の衛生状況、各種証明（賞味期限設定、有機栽培、産地、銘柄証明など））が全てWeb上でお取引先とパルコープとで共有管理されています。これらの商品情報と、実際に製造され、お届けされる商品が一致しているか、現品表示や検査で点検確認しています。



残留動物用医薬品検査

共同購入、店舗の「輸入肉」（アメリカ産・オーストラリア産・ブラジル産など）に動物用医薬品（抗生物質・ホルモン剤など）の残留がないかを検査しています。

共同購入および店舗の抜き取り検査の結果情報を、パルコープのホームページでお知らせしています。

今年度のまとめ

2023年度は、190件の検査を実施しました。

● いずれも問題はありませんでした。

残留動物用医薬品検査の流れ

サンプリング・粉砕



肉の脂肪を取り除き、細かく刻みます



抽出・精製



医薬品成分を抽出精製します

測定・分析



測定器にかけて、医薬品の成分と量を調べます

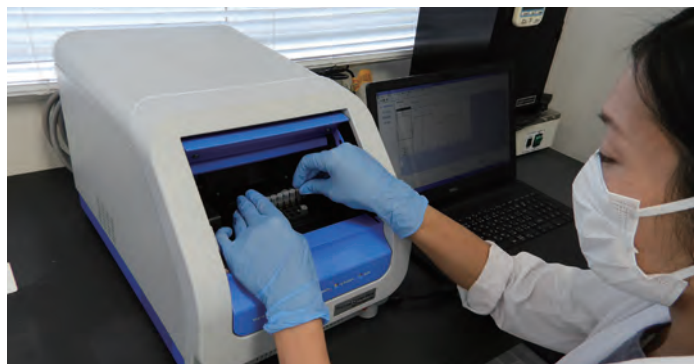
お米の品種鑑定検査

「コシヒカリ」や「あきたこまち」など、お米の品種鑑定検査を実施しています。

今年度のまとめ

2023年度は、25件の検査を実施しました。

● 登録米についても問題はありませんでした。



商品お申し出受付

組合員さんからいただいた声を受け止め、その問題点や原因を明らかにし、できる限りの対策を講じ、改善をすすめること。そして、その取り組みを組合員さんにお知らせし、生協への信頼に応えていくこと、これこそが生協のもっとも重要な活動であると考えています。

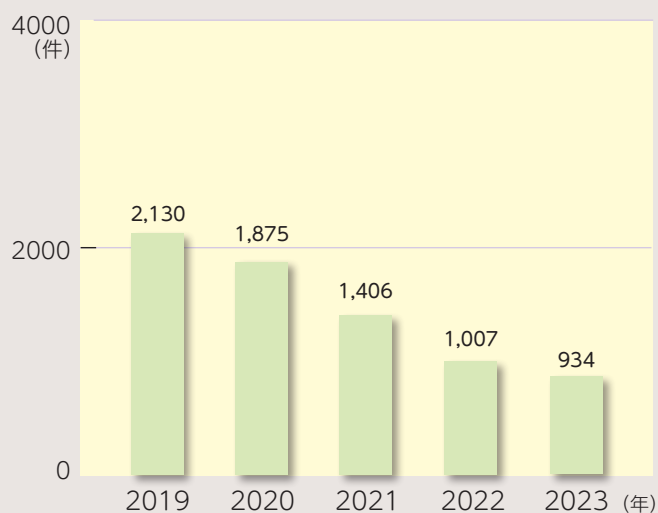
今年度のまとめ

2023 年度のパルコップでのお申し出件数は、**934 件 (前年比 92.8%)** と減少しました。

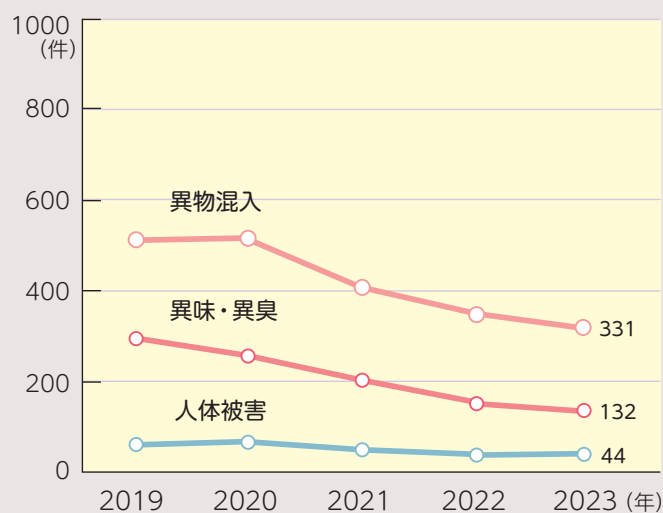
- 内容は、異物混入が 331 件で減少傾向にあります。お取引先点検へは 41 社へ訪問・協議し、リスクの高い日配部門のお取引先を中心にすすめました。また、新規お取引先や苦情発生による緊急点検も実施し、協議を積み重ねています。

● お申し出件数の推移

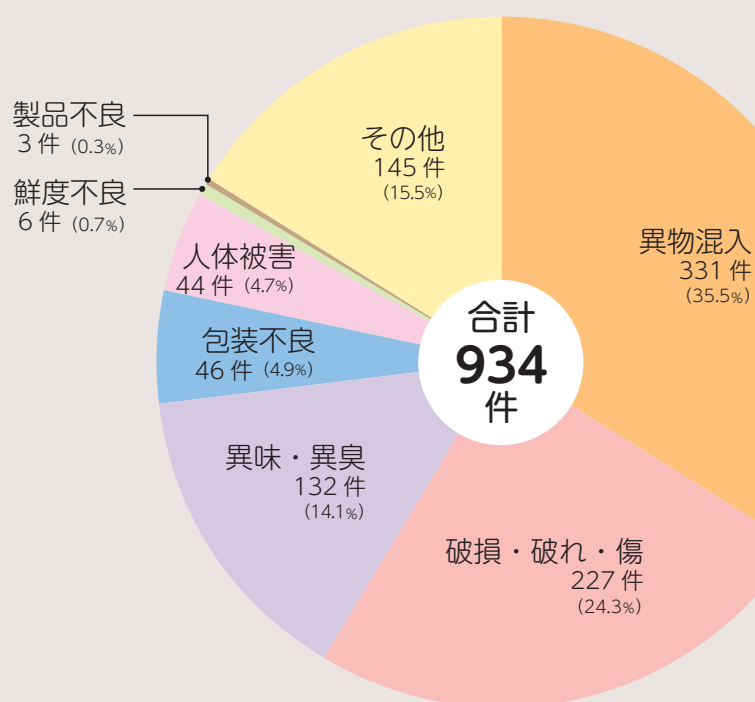
商品お申し出受付総件数は、2022 年度より減少しました。(2022 年度対比 92.8%)



● お申し出内容別推移



● 主な商品お申し出分類構成比



異物混入の内容

合計 **331 件**

プラスチック・ゴム・ビニール
51 件 (15.4%)

動物由来 50 件
(15.1%)

人由来 46 件 (13.9%)
(うち毛髪 44 件)

植物由来・植物片 28 件 (8.5%)

昆虫 24 件 (7.3%)

紙・繊維類・糸 20 件 (6.0%)
金属 11 件 (3.3%)

その他 83 件
(25.1%)

ガラス 1 件 (0.3%) 石・砂・陶器 7 件 (2.1%)
汚れ (包装・容器は除く) 10 件 (3.0%)

商品検査室への質問コーナー

Q 商品検査は、何を対象にどれくらい実施しているの？

A 下記のように、対象品・頻度・時期を決めて実施しています。人体被害（食中毒・異物混入など）のリスクの高い商品の検査頻度を上げて取り組んでいます。

検査内容	対象	検査計画
農産物の残留農薬検査	ハート栽培品	年間約 112 品、供給前検査、100%
	・慣行栽培品 ・産地指定品	産地別に通年で 1 回以上、100%
	商品相談品（薬品臭）	お申し出の都度
海外製造の加工食品の 薬物残留検査（農薬など）	海外工場製造加工食品	通年で 1 商品 1 回以上、100%
輸入肉の残留動物用医薬品検査	新規取り扱い品、定番品、 店舗取り扱い品	供給前検査、100%、及び抜き取り
食品添加物検査（保存料、発色剤）	新規取り扱い品、 定番品（ココラボ、支所開発商品）	供給前検査、100%、及び抜き取り
食中毒リスク検査 （及び製造環境改善調査） ・一般生菌数、・大腸菌（E-coli）、 ・O-157（腸管出血性大腸菌）、 ・大腸菌群、セレウス、肺炎ピブリオ、 ・黄色ブドウ球菌、サルモネラ、リステリア、 カンピロバクター・真菌、酵母	新規取り扱い品 定番品（リスク高品）抜き取り 調査要請品（介護食、夕食宅配他） 店舗・福祉衛生検査品 （抜き取り品、設備、従業員他）	供給前検査、100%（※製造条件により供給同時となる場合があります。） 月約 195 品 年約 1280 品 年約 1700 品
残留放射能検査（放射性物質）	17 都県農産物、米 千葉銚子以北青森の海産物	共同購入 100% 店舗（抜き取り）
卵質検査	定番品（共同購入、店舗）	5～11 月は毎週、12～4 月は隔週 100%（共同購入）※店舗は隔月
お米の品種鑑定検査	定番品（登録米含む）	年 1 回、100%
お米鮮度検査	定番品（登録米含む）	年 1 回（新米時期）
お米の重金属検査（カドミウム）	* 外部委託検査 定番品（登録米含む）	年 1 回（新米時期）
遺伝子組み換え検査	* 外部委託検査 NON-GMO 使用品	年 1 回
アレルギー検査	新規取り扱い品	供給前検査（リスクの高いメーカーを優先）

Q お正月のおせちや迎春商品の検査はどのようにしているの？

A ①検査はどのような検査？

→微生物検査・食品添加物検査（保存料・発色剤）・ヒスタミン検査を実施しています。

②迎春商品の検査状況は？

→検査対象品の事前検査を 100% 実施しました。



	検査内容	取り扱い品の内、検査対象品
おせち	微生物検査	おせち企画品（冷凍・生）40 品の内 40 品（421 検体） を検査しました。
	食品添加物検査 （保存料・発色剤）	おせち企画品の内、検査対象の食肉加工品（ハム・焼豚など）、いくら、魚肉練り製品などを選定し、 40 品（127 検体） を検査しました。（保存料 90 検体／発色剤 37 検体）
迎春商品 （刺身、蒲鉾 寿司など）	微生物検査	新規企画品は 27 品（76 検体） を検査しました。
	食品添加物検査 （保存料・発色剤）	新規企画品より、検査対象のローストビーフ・ハム・いくら・蒲鉾・伊達巻などを選定し、 9 品（12 検体） を検査しました。（保存料 9 検体／発色剤 3 検体）

お申し出事例

①はちみつが白くにごってかたまっている

はちみつは少ない水分の中に、主成分の糖が無理に溶け込んだ飽和状態になっています（約 80 g の糖分が約 20 g の水分に溶けている状態）。そのため、時間とともにはちみつに含まれる気泡や花粉などを核として、糖が結晶となり析出していきます。はちみつの性質によるもので、結晶化しても品質には問題はありません。

結晶は気温などの環境や温度変化、振動などの物理的な刺激を受けると起きやすくなります。

結晶化した場合は、湯せんで溶かすことができますが、加熱しすぎると成分や風味が変化するため、お湯が熱くなりすぎない（沸騰させない）ように注意してください。



②お米がおいしくない・虫が入っている！

お米は野菜と同じ農産物です。精米したてが一番鮮度がよく、保存中などに温度や湿気、直射日光の影響を受けた場合に、風味が変化したり、乾燥によるひび割れがおきて、本来の食感が損なわれたりすることがあります。においを吸着しやすい性質もあるので、保存方法には気をつけて、なるべく早く食べきりましょう。

また、お米の袋は圧力などによって破れてしまうことを防ぐため、小さな空気穴が開いています。そのため、湿気や袋に付着した水分が空気穴から入り込み、変色・カビの原因となったり、虫が袋内に侵入することがあります。密封容器に移し替えるなど、保存の仕方が重要です。

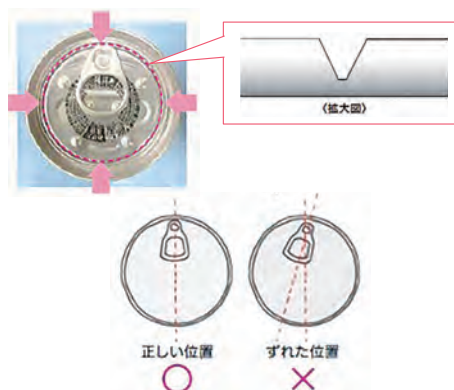


③缶詰のフタのリングが取れて開けられない・・・

多くの缶詰は缶きりを使用せずに手軽に開けられるイージーオープン缶（EO缶）となっています。EO缶のフタには開封のための溝（スコア部）が設けてあり、リング（プルタブ）を引き上げると、リングの先端が溝にあたって、溝が切れることでフタが開けられる仕組みとなっています。

リングの先端が溝からずれた位置にある状態でリングを引き上げると、リングの先端がフタ表面にあたってしまい、「てこの原理」でリングのつけ根に負荷が加わり、つけ根部分から取れることがあります。

また、リングがわずかに持ち上がった状態でも、溝が切れて中身がもれることがあるので、注意が必要です。



④アルミホイルが白っぽくなっている

しばらく保管していたアルミホイルを使おうとすると、中央部分が白っぽくなっていることがあります。

アルミホイルの原料であるアルミニウムは、水や塩分、酸、アルカリなどに弱く、長時間触れていると、酸化腐食現象（さび）が発生することがあります。

長期保管中に温度や湿度が変化することによって発生した結露がホイル内部に吸収されるため、ホイルの若干のねばりから始まり、乳白色や茶褐色、黒色などに変化し、ホイルどうしがくっついて白い粉状に変化します。

ホイルの端は外気に触れて乾燥しやすいため、ほとんどの場合、中央部が帯状に変色します。また、保管期間が長いほどこのような現象が生じやすくなります。

アルミホイルは湿気の少ない場所で保管するなど、保管場所、期間にご注意ください。



お取引先訪問確認

商品検査室では、支所開発商品や異物混入など組合員さんからのお申し出及び、検査結果に基づきお取引先の工場訪問を実施します。また、指定産地・ハート栽培農産物などの産地訪問も実施しています。

工場訪問・産地訪問のポイント

1

衛生的な環境で商品がつけられているかについて

従業員の手洗いや服装の確認、工場内の清掃・整理整頓が行き届いているかなどを確認します。

2

製造工程について

決められた原料が使用され、異物混入防止対策が適切に行われているか、加熱や冷却温度は適切かなどを確認します。

3

記録について

従業員の健康管理や清掃、温度管理や製造に関する記録が正しく記録されているかを確認します。

4

産地ではハウスや圃場まわり、加工場が整理整頓されているか、農薬・肥料の適切な管理が行われているか、使用する種子や生育状況の記録を確認します。



工場訪問の様子



産地訪問の様子

問題があれば、
産地・お取引先と
話し合いながら
改善に取り組んで
まいります。



沿革

- 1991年 商品検査室（旧都島支所）を開設
- 1998年 機能を拡大し、城東組合員会館に移転
- 2003年 残留農薬検査を開始（外部委託検査から内部検査に変更）
- 2005年 微生物検査 スパイラルプレーター導入
- 2008年 残留農薬検査機器 2台追加導入
- 2009年 枚方物流センター 2Fに移転（5月）
- 2011年 残留放射能検査開始 Ge半導体検出器（ γ 線精密分析機）設置
- 2013年 ヒスタミン検査を開始
- 2014年 店舗の5S、衛生検査を本格開始
- 2016年 輸入肉の取扱い拡大に向けて残留動物用医薬品検査を開始
- 2017年 お米の品種鑑定検査を開始
- 2019年 アレルゲン検査を開始
- 2020年 残留農薬検査機器 1台入れ替え 保存料検査機器 1台入れ替え
- 2023年 微生物検査 スパイラルプレーター 1台入れ替え

商品検査室体制（2024年9月現在）

- 責任者 4名
- 検査室内グループ
 - ・微生物グループ 4名
 - ・理化学グループ 5名
（残留放射能・残留農薬・保存料等）
 - ・品質管理グループ 4名
（産地点検・工場点検・お申し出回答等）
 - ・仕様書・衛生点検管理 4名

合計 21名

商品検査室って、こんなところです



生活協同組合 おおさかパルコブ <https://www.palcoop.or.jp/>

商品検査室

(株)おおさか協同物流センター枚方物流センター 2F
〒573-1132 枚方市招提田近 3 丁目 11 番

【交通アクセス】

京阪電鉄【樟葉】駅より京阪バス 4 番のりば【中の池公園】下車すぐ

